

2月28日

神戸の文化スポーツの拠点、  
防災の拠点をこわすな  
文化スポーツ局審査で味口議員



質問する味口としゆき議員

神戸市が大学誘致ありきで強引に進める王子公園の再整備。王子プールは、秋ごろから解体工事に着手するとしています。神戸市は灘区からプールがなくなってもポートアイランドのスポーツセンターにプールがあるから大丈夫だと強弁し、不便を市民におしつけます。しか

能登半島地震発生から2か月が過ぎ、今も1万人を超える方々が避難生活を強いられています。被災地では性的被害が増え、安心して授乳もできないなどの人権侵害や、女性用品・赤ちゃん用品・介護用品などの対応が問題となっています。内閣府が昨年5月に出した防災・危機管理部局の女性職員数などの調査結果では、女性の割合はわずか1割との報告でした。森田議員は、女性職員数を増やし女性の視点で防災計画を見直すべきと

2月29日

「弱点」を克服し、六甲アイ  
ランドの活性化をはかれ  
都市局審査で西議員



質問する西ただす議員

## 予算特別委員会審査から②

- 1. 王子公園のスポーツ施設を守る  
ことについて
- 2. 神戸市立博物館条例等の改正に  
ついて
- 3. 灘図書館の充実について

質疑項目

し、肝心のスポーツセンター再整備が入札不調で止まっている今、王子公園のプールの廃止は延期すべきです。また、王子公園は神戸市の防災拠点で、日常の備えが大切ですが、スポーツ担当局長は「スタジアムを設計する段階で防災拠点としてどうするのかは検討していく」と答弁。味口議員は「設計途中で地震が来るかもわからない。明日地震が起きても対応できる、行政の備えを今のうちに示すべきだ」と質しました。

### 答弁ダイジェスト

味口議員：今度のスタジアムは騒音や光の問題もある。近隣住民に配慮した設

備や運用を検討する一方で、地域防災計画では、広域緊急輸送拠点の指定で、救援物資等を輸送経路に応じて受け入れる。両立しないのではないかと。

壇特局長：大規模な災害時は災害救助が優先されるかと思う。また、災害の発生の状態により、どこがどのように利用されるかも分からないので、災害の状況に応じて適切に対応していく。

味口議員：そんな答弁で安心できるわけがない。神戸市のスポーツ行政と災害拠点の機能の後退だ。7万5000人以上の署名も集まっている。考えを変えることを求める。

2月29日

女性職員の登用拡大し女性  
視点で防災計画の見直しを  
危機管理室・消防局審査で森田議員



質問する森田たき子議員

質疑項目

### 危機管理室

- 1. 災害時の初動体制について
- 2. 災害時の備蓄について
- 3. 災害時の避難所について

### 消防局

- 4. 神戸市の消防力整備指針について
- 5. 警防要員について
- 6. 消防署所について

質しました。

### 答弁ダイジェスト

森田議員：神戸市では防災関連部署で防災計画の作成に携わっている女性職員と防災会議の女性委員は全体の何%いるのか。

筒井危機管理監：防災会議の女性委員は63名中9名で14.3%。女性職員は38名中7名で18.4%だ。

森田議員：あまりにも少ない。今後女

性登用の目標はあるのか。

筒井危機管理監：神戸市の男女共同参画計画では2025年に40%以上と目標を定めているが、遠く達していない状況だ。現在庁舎全体の女性正規職員の割合は35.8%となっているので、それを一つの目安と考えている。

森田議員：女性職員を増やし、女性の視点で防災計画をしっかりと見直すべきだ。

- 1. 六甲アイランドのまちづくり  
について
- 2. 三宮再開発について
- 3. 王子公園の再整備について

質疑項目

3月1日、六甲アイランドの神戸ファッションプラザの商業棟が、複合商業施設「ROKO i PARK」としてリニューアル

オープンしました。住民の願いが実現したと歓迎される一方で、強く要望されていた店舗や医療施設の計画はまだありません。また地域からは、継続的に店舗が営業できるよう神戸市が力を入れてほしいという声もあがっています。西議員 (2面につづく)

は、2021年2月に住民と都市局でまとめた「まちの将来の姿」で指摘された弱点を解消するよう、神戸市の対策を強く求めました。

## 答弁ダイジェスト

**西議員：**「まちの将来の姿」で商業施設の撤退や生活利便施設の不足などが六甲アイランドの弱点と指摘されている。予算案ではまちの活性化として4600万円計上されているが、これでは弱点は解消

神戸市は、2010年度策定の「第2次市営住宅マネジメント計画」で、市内でも最大規模の市営住宅団地である桜の宮住宅を建替え住宅として位置づけ、民間事業者によるPFI事業で進めています。日本共産党神戸市会議員団は、住宅戸数を1000戸以上減らすだけでなく、入居者の生活ではなく企業の利益を優先したものになっていると一貫して反対を貫いてきました。現在、歩道の未整備や公園の周辺環境の不具合など改善を求める声が地域からあがっており、朝倉議員は、神戸市や事業者による具体的な対策を求めると同時にPFI事業はやめるべきと求めました。

3月1日

## 市民に過大な投資による負担を押し付けるな 港湾局審査で赤田議員



質問する赤田かつり議員

神戸市は関空定期便と大阪万博を見込んで、神戸空港の年間旅客数を現在の倍の700万人と想定し莫大なお金をかけて国際化や国内線を拡張整備する計画をしています。国際情勢は流動的で先行きはあいまいです。市長は、さきの代表質問で、「国際定期便、どれだけ来るかわからない」「2030年までに関空がどれだけ発着枠を確保するのかで神戸空港が影響する」などと答弁。そんな状況で関西を訪れる外国人が、神戸空港の国際定期便

できない。必要な店舗や施設の誘致、営業継続への支援など具体的な手立てが必要ではないか。

**平岡部長：**オープンに向け官民連携で我々も一緒になって企業訪問し、具体的な交渉にあたってきた。引き続き地域のニーズをふまえながらまちづくりに取り組んでいく。

**西議員：**地域住民によるアンケートでは、書店や飲食店、医療機関や区役所の出張所などが求められている。まさに

質疑項目

1. 市営住宅マネジメント計画について
2. 市営住宅の適正管理と有効活用について
3. 新桜の宮住宅のPFI事業の弊害について

## 答弁ダイジェスト

**朝倉議員：**「道路・公園についての基本的な考え方」で、道路の整備について「新たな住宅や施設の入口を整備する道路には歩道を設置し安全を確保」とあるが、歩道が未整備だ。生活支援ゾーンで、こども園があり高齢者関係の施設が予定されているが、安全対策が不十分だ。

**田中建築指導部長：**PFI事業の中で区域内の道路をどう再整備していくか、公園管理者と協議し整備内容を決める手順を踏んでいる。北側については道路を拡幅する予定であり、歩道を設ける工事が2025年度中には完成する。

**朝倉議員：**北山公園の一部は盛土で、

「弱点」とされたところがあらわれている。駅前リノベーションに多額の資金が投じられている。新都市整備事業会計の資金など本来のまちづくりに使うべきお金を六甲アイランドの活性化に使うべきだ。

3月1日

## 桜の宮住宅の道路や公園の不具合など早急に改善を 建築住宅局審査で朝倉議員



質問する朝倉えつ子議員

土留はしているものの大雨で土が流れ出している。公園は地域の方や入居者がボランティアで管理しながら工夫して対応している。施工業者に改善を求めるべきだ。

**田中建築指導部長：**北山公園は先行して供用を開始している。幅広いエリアなので事業の順番を組まないといけない。供用を開始してから想定外の不具合が出てくる場合もあり、関係者で協議しながらその都度事態に対応していく。

える整備費に税金を投入するべきではありません。

また、その空港の付帯工事については、市債を活用することになっています。赤田議員はさらなる借金を市民におしつけるべきでないと質しました。

## 答弁ダイジェスト

**赤田議員：**附帯工事もサブターミナルも、使用料・利用料等により償還するとしている。この「等により」というのは、ほかに何か想定しているのではないか。

**河原局長：**大きくは利用料と使用料だとして理解をいただきたい。

**赤田議員：**市税は絶対に投入しないということか。

**河原局長：**このターミナルの償還については、市税を投入することはない。

**赤田議員：**空港本体工事には税金を絶対投入すべきではないし、過大な需要予測による投資はやめるべきだ。

質疑項目

1. 過大な需要予測による多額投資の神戸空港国際化工事について
2. カーボンニュートラルポート・水素エネルギー実証事業中止について
3. 実体経済と乖離した戦略港湾、バスや航路の大水深化などの計画中止について
4. ウォーターフロントの整備計画の抜本的な見直しについて
5. 須磨ヨットハーバー駐車場値上げについて

を確実に利用するとなぜ断言できるのかと疑問の声があがっています。

さらに国内線を現在の13路線に加えて8路線拡張し21路線に、その8路線には直営空港時に年間の旅客数・搭乗率とも極めて低く廃止した路線が含まれていません。生産年齢人口も総人口も減少している今、神戸市がたてた予測ではこの路線の旅客数は、過去最高の乗客数の1.5倍近い見込みとなっています。現実から乖離した需要予測をたてて、250億円をこ